

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 104-0053  
 住 所 東京都中央区晴海2-5-24 晴海センタービル  
 氏 名 株式会社JSOL  
 代表取締役社長  
 前川 雅俊

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社JSOL		
主たる事務所 又は事業所の所在地	※ ※ ※ ※		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	G	情報通信業
	中分類	39	情報サービス業
主たる事業 の内容	情報処理サービス業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	1,470	kl
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出量		t-CO <sub>2</sub>

## (第2面)

計画期間及び報告年度	平成28年度 ~ 平成30年度 (報告年度 平成30年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	当社はISO14001認証を取得しており、環境への取組みについては、ホームページにて公表しています。 <a href="https://www.jsol.co.jp/company/eco.html">https://www.jsol.co.jp/company/eco.html</a>

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

## 事業活動地球温暖化対策結果報告

## 1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

## (1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

## ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 4,392 t-CO <sub>2</sub>	(実) 3,909 t-CO <sub>2</sub>	(実) 3,559 t-CO <sub>2</sub>	(実) 2,972 t-CO <sub>2</sub>	(実) 4,392 t-CO <sub>2</sub>
	(調) 4,313	(調) 3,839	(調) 3,496	(調) 2,919	(調) 4,313
削減率		(実) 11.0 %	(実) 19.0 %	(実) 32.3 %	(実) 0.0 %
		(調) 11.0 %	(調) 18.9 %	(調) 32.3 %	(調) 0.0 %

## イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	UPS電力量		単位	t-CO <sub>2</sub> /千kWh	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値	0.8199	0.8203	0.8264	0.7830	0.8264
削減率		0.0 %	-0.8 %	4.5 %	-0.8 %

## ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	分母となるUPS電力量を構成する電算室のサーバ等機器が減少したことにより、電力使用量、温室効果ガス排出量は減少した。これに対して、電算室の空調等の効率的運用に努めるも、室面積は変わらないため、空調動力の削減に限界があり、原単位ではほぼ同水準となった。
第2年度	分母となるUPS電力量を構成する電算室のサーバ等機器が減少したことにより、電力使用量、温室効果ガス排出量は減少した。これに対して、電算室の空調等の効率的運用に努めるも、事務室の人数が減っておらず、電灯動力および空調動力の削減に限界があり、原単位では微増となった。事務室には当社以外の社員もいるため、当社のみでの温室効果ガス排出量の削減への取り組みが厳しい状況。
第3年度	分母となるUPS電力量を構成する電算室のサーバ等機器が減少したことにより、電力使用量、温室効果ガス排出量は減少した。電算室内の利用状況が大きく変わってきたことに伴い、空調や電灯等の運用を見直すことにより、大幅な効率化を実現し、原単位を大きく下げることができた。

## (2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、 第2号、 第4号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○推進体制の整備</li> <li>○外部機関の活用等</li> <li>○エネルギー使用量等の把握、計測、記録等の管理</li> <li>○受電設備の管理</li> <li>○新設、更新等における措置</li> </ul>
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○推進体制の整備 着実に維持している。</li> <li>○外部機関の活用等 ISO14001更新審査を受審し更新した。</li> <li>○エネルギー使用量等の把握、計測、記録等の管理 着実に維持している。</li> <li>○受電設備の管理 トッランナー変圧器を導入した。</li> <li>○新設、更新等における措置 電算機室新型PAC空調機を1台増設した。</li> <li>○空気調和設備の効率管理 稼働調整をし効率的に稼働させ電力量を減少させている。</li> </ul>
	第2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○推進体制の整備 着実に維持している。</li> <li>○外部機関の活用等 ISO14001更新審査を受審し更新した。</li> <li>○エネルギー使用量等の把握、計測、記録等の管理 着実に維持している。</li> <li>○受電設備の管理 第1年度、トッランナー変圧器を導入済。</li> <li>○新設、更新等における措置 着実に実施している。</li> <li>○空気調和設備の効率管理 稼働調整をし効率的に稼働させ電力量を減少させている。</li> </ul>
	第3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○推進体制の整備 着実に維持している。</li> <li>○外部機関の活用等 ISO14001継続審査を受審し更新した。</li> <li>○エネルギー使用量等の把握、計測、記録等の管理 着実に維持している。</li> <li>○受電設備の管理 第1年度、トッランナー変圧器を導入済。</li> <li>○新設、更新等における措置 着実に実施している。</li> <li>○空気調和設備の効率管理 稼働調整をし効率的に稼働させ電力量を減少させている。</li> </ul>

自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

再生可能エネルギーの利用について検討する。
-----------------------

イ 計画期間の再生可能エネルギー源等の利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考

ウ 計画期間の再生可能エネルギー源等の価値の保有実績

種類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考

## 4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

## 5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○廃棄物の抑制、分別</li> <li>○働き方の見直し</li> <li>○紙使用量の抑制</li> <li>○資源紙リサイクル</li> </ul>
第1年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○廃棄物の抑制、分別 鋭意取り組み中。</li> <li>○働き方の見直し ・残業時間削減に取り組んだ。</li> <li>○紙使用量の抑制 鋭意取り組み中。</li> <li>○資源紙リサイクル 東京センターでは、毎月、資源紙リサイクル活動を実施し、再生されるトイレ トペーパー購入を継続し、センター全般での地球温暖化に関する意識啓発に寄与して いる。</li> </ul>
第2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○廃棄物の抑制、分別 鋭意取り組み中。</li> <li>○働き方の見直し 残業時間削減に取り組んだ。</li> <li>○紙使用量の抑制 鋭意取り組み中。</li> <li>○資源紙リサイクル 東京センターでは、毎月、資源紙リサイクル活動を実施し、再生されるトイレ トペーパー購入を継続し、センター全般での地球温暖化に関する意識啓発に寄与して いる。</li> </ul>
第3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○廃棄物の抑制、分別 鋭意取り組み中。</li> <li>○働き方の見直し 残業時間削減に取り組んだ。</li> <li>○紙使用量の抑制 鋭意取り組み中。</li> <li>○資源紙リサイクル 東京センターでは、毎月、資源紙リサイクル活動を実施し、再生されるトイレ トペーパー購入を継続し、センター全般での地球温暖化に関する意識啓発に寄与して いる。</li> </ul>

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績 (排出係数反映)

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	2,795	t-CO <sub>2</sub>
(調)	2,718	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO <sub>2</sub>
(調)		

(2) 事業所等単位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
東京センター	***	3921	情報処理サービス業	2,795 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500kl 未満	
300~400kl 未満	
200~300kl 未満	
100~200kl 未満	
100kl 未満	

(3) 事業所等単位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	
------	--